

計画書整理 No.

期 間：平成 28 年 12 月 28 日 29 日

種 別：個人

山 域：丹沢縦走

参 加 者：稲福 恵美子

コースタイム：

12 月 28 日（晴）

西丹沢自然教室(8：50)—展望台(10：50)—檜洞丸(12：30)—

臼ヶ岳(15：10)—(17：05)蛭ヶ岳山荘泊

12 月 29 日（晴）

蛭ヶ岳山荘(7：30)—丹沢山(9：30)—塔ヶ岳(11：00)—大倉バス停(14：20)

12 月 28 日（水）

早朝、JR 久里浜発に乗り、新松田からバスに乗り継ぎ西丹沢へ向かう。ほぼゴウラ沢で下車し、3 人だけになる。箒沢で一人下りたので、終着西丹沢自然教室では私ともう一人の年配の男性が下車した。登山届を出すと、係りの人が檜洞丸は 900 メートル以上、蛭ヶ岳は 800 以上降雪と登山者に伝えていた。

一緒に下車した方が蛭ヶ岳に行くといっていたので、私も蛭ヶ岳に向かいますと、挨拶を交わした。

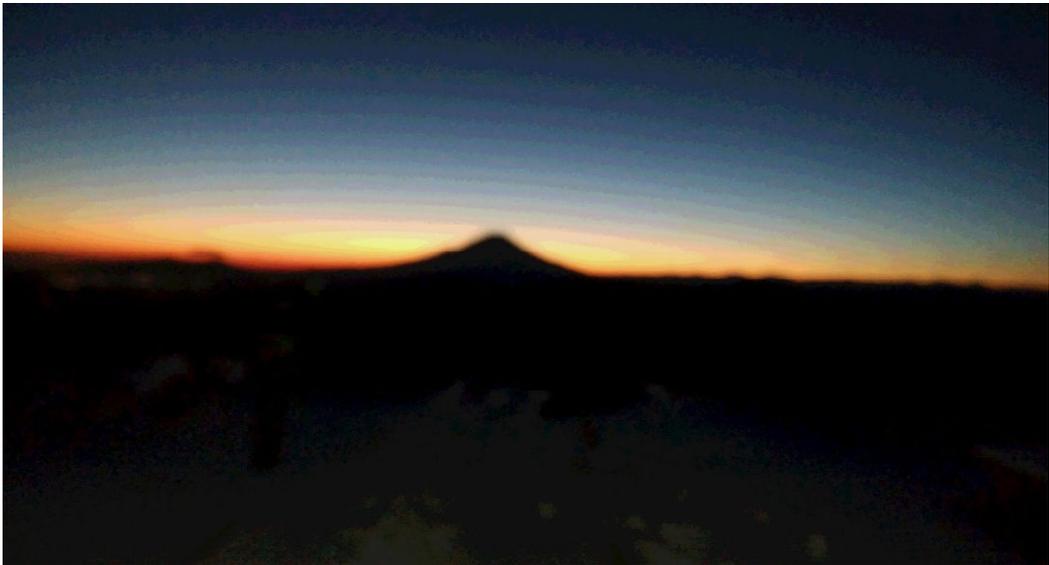


檜洞丸の青ヶ岳山荘

8:50 西丹沢 出発。しばらく登って行くとゴーラ沢出合いに、昨日降った雨で増水していた。この寒さで初端から川に浸かったら山行どころではなくなると、慎重にバランスとり、飛び石を飛んで川を渡った。しばらく登って行くとところどころに雪が現れ始めた。展望台のあたりからは10センチほどの積雪に、先行された方のトレースが有り、ありがたかった。できれば歩幅がもう少し狭いともっとありがたい。



蛭ヶ岳山荘



蛭ヶ岳山頂より富士を望む 影絵のようなシルエットの富士山

12:30 檜洞丸山頂に到着、バスで一緒し、箒沢から登られた方と話しながら食事をする。話題は想定外の積雪など、その方も蛭ヶ岳山荘泊とのことで

したので後ほどの再会を約して、一足先に準備し蛭ヶ岳方面へ向かう。臼ヶ岳へ向かう下りは新雪なので割と下りやすかった。臼ヶ岳を過ぎ蛭ヶ岳へ向かう稜線の手前で、念のため6本爪の軽アイゼンを装着。このアイゼンはワンタッチで増し締めができるタイプのものだ。蛭ヶ岳の登りでは日没との闘いになった。結構急な登りなので焦りは禁物、念のためキャプライトを着ける。17:05 蛭ヶ岳山荘到着

12月29日(木)(曇・晴)

7:30 蛭ヶ岳から丹沢山へ向かうあまりの強風にビックリ、-5度だが体感的には何度になるのだろうか。尾根もいっそう風が強く降雪はないのだが地吹雪のなか、低い体勢で通過した。

14:20 大倉へ無事下山する。



丹沢山山頂にて

今回、想定外の雪で思いのほか時間がかかりました。冬の西丹沢は人が少なく静かな山でしたが、丹沢山からの表尾根は冬でも人が多く賑やかでした。どこからでも見える真っ白な富士山に励まされながら、楽しく山行ができました。

以上